

許すな！ 雇用・賃金・年金破壊 守ろう！ 平和と憲法

年金改悪法案衆議院通過・参議院で必ず廃案に！ 自公民3党合意は撤回せよ！ 5.12 国会前座りこみ行動、昼休みデモ決行

年金大改悪法案が自・公・民の“なれあい談合”で衆議院を通過し、参議院本会議に上程された5月12日、「年金改悪法案反対、許すな！有事法制、自衛隊はイラクから撤退せよ」と、怒りの国会前座り込み行動、昼休みデモが敢行された。

日比谷公園からの昼休み国会請願デモには約350人が参加。正午から午後3時までの国会前座り込み行動には約200人が参加し、年金大改悪法案を廃案に追い込む決意を固めあった。

午後1時すぎから開かれた座り込み集会では、全労連の坂内事務局長が別項のように主催者あいさつ。東京土建、年金者組合、山梨民医連、日本医労連、障全協の代表が廃案にむけて頑張り抜く決意表明をした。また、日本共産党の西山登紀子参議院議員が激励挨拶をし「今日の代表質問で保険料上限がないこと、給付50%確保がウソであることが明らかになった。ヤミ・密室談合の改悪法案は廃案にするしかない。全力をつくす」と述べた。

“なれあい談合”許さず、断固廃案を 全労連事務局長 坂内三夫

年金制度の歴史的な大改悪法案が自・公・民の“なれあい談合”の修正で衆議院を通過した。修正と言うが、中身は何か。14年間連続の保険料引き上げ、給付は2023年までに15%削減する、ことについてはまったく修正されていない。それどころか、年金財源を口実に消費税の引き上げが合意されたもので、まったく修正の名に値しない醜悪だ。衆議院本会議で修正案を提案した自民党の長勢議員は保険料未納議員だったし、今日4時に発表されるが、厚生労働大臣を出し与党であり改悪に突き進んできた公明党の神崎代表、冬柴幹事長も未納であった。まさに茶番劇だ。

ここまできたら、直ちに廃案にし、一から出直すこと。これが国民多数の声だ。

いま大事なことは、談合で衆議院を通過したのだから反対しても、とあきらめてはいけないことだ。国民の7～8割が反対し、未納問題で反対の声は日々高まっている。

断固反対して、廃案に追い込むために頑張ろうではないか。